

木	1	先勝	
金	2	友引	
土	3	先負	
日	4	仏滅	休日営業
月	5	大安	
火	6	赤口	
水	7	先勝	
木	8	友引	プチ茶会
金	9	先負	プチ茶会
土	10	仏滅	プチ茶会
日	11	大安	定休日
月	12	赤口	
火	13	先勝	
水	14	友引	
木	15	先負	
金	16	仏滅	
土	17	大安	
日	18	赤口	定休日
月	19	先勝	
火	20	友引	
水	21	先負	
木	22	仏滅	
金	23	大安	定休日
土	24	赤口	
日	25	先勝	定休日
月	26	友引	
火	27	先負	
水	28	仏滅	
木	29	赤口	年末年始休暇
金	30	先勝	
土	31	友引	1/5迄

本年のご愛顧に
深く御礼申し上げます

プチ茶会のお知らせ



petit Christmas

12月 8 木 9 金 10 土

今年最後のプチ茶会を
クリスマス気分で ご提案させていただきました
どうぞお気軽に お立ち寄りくださいませ

プチ茶会ではこの茶碗を
使用させていただきます



安南写蜻蛉絵茶碗

The お道具拜見 12月号は【横井米禽べいきん】です

横井米禽 明治18年～昭和16年(1885年～1941年)56歳

本業は古美術商。その傍ら夜寒焼で作陶にはげみ、大正13年には東雲焼(窯)を譲り受けた。窯の跡地は名古屋市中区金山「日本特殊陶業市民会館」朝鮮・安南写、和物特に伊賀写には定評があり、幅広く手がけた作品は茶人にも好まれている。

月刊ギャラリーさん 出会いふれあい 全国茶の湯紀行
第20回は 横浜市「三溪園」です

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家 原 三溪によって、1906年(明治39)5月1日に公開されました。175,000m²に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されています。(現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟)東京湾を望む横浜の東南部・本牧に広がる広大な土地は、三溪の手により1902年(明治35)頃から造成が始められ、1914年(大正3)に外苑、1922年(大正11)に内苑が完成するに至りました。三溪が存命中は、新進芸術家の育成と支援の場ともなり、前田青邨の「神輿振」、横山大観の「柳蔭」、下村観山の「弱法師」など近代日本画を代表する多くの作品が園内で生まれました。その後、戦災により大きな被害をうけ、1953年(昭和28年)、原家から横浜市に譲渡・寄贈されるのを機に、財団法人三溪園保勝会が設立され、復旧工事を実施し現在に至ります。園内にある国指定重要文化財・横浜市有形文化財の建築物(白雲亭・蓮華院・月華殿・春草廬・金毛窟など)



第5回

七官青磁花入
中国の龍泉窯で焼かれた青磁の一種で明末時代から清時代にかけて制作されたものをいう。透明な青緑色の光沢の強い釉で、概して貫入があるのを特徴とする
お店に小さな美術館ココgalleryを作りました。お茶会によく登場するものからこだわりの逸品までご紹介させていただきます。どうぞお楽しみに!

名古屋市博物館

では茶会が催されている。三溪園HPより

旧燈明寺三重塔と臨春閣 【重要文化財】



ちょっといっつく「マメ知識」 一宮市の素封家、森川如春庵と原三溪&益田鈍翁 についてです

わずか16歳で本阿弥光悦の名作、黒染茶碗「時雨」を所持した森川勘一郎(号・如春庵によしゆんあん、じょしゆんあん1887～1890)93歳。現在茶碗は名古屋市博物館所蔵。如春庵は名古屋を代表する茶人、美術品収集家として知れ、書画や和歌・俳句・作陶をたしなむ文化人でもあった。益田鈍翁、原三溪といった当代一流の茶人たちと親密な交遊を持った。現在名古屋市では如春庵が残した茶室「田舎家」再現を計画をしている。名古屋市博物館HPより

ギャラリー森田 「初釜」 ご案内 2017 1/7土 8日 【初売り】開催します



中村良二 灰釉雪笹茶碗
¥17,500→¥12,200



武村利左工門 絵唐津茶碗
親子酉 千鳥 勅題野
各 ¥4,300→¥3,000



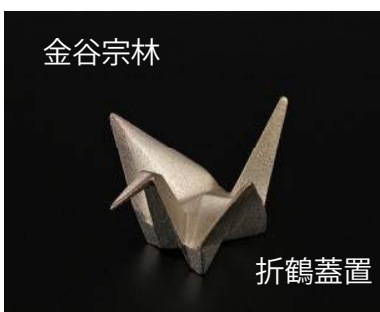
加藤ひろ子 金砂子柚子茶碗
¥34,500→24,000



小柳庸山 紺青交趾隈取風茶碗
¥22,600→¥15,800



金谷宗林 モール波千鳥建水
¥35,700→¥24,900



金谷宗林 折鶴蓋置
¥23,000→¥16,000



一ノ瀬宗辰 つくばね蓋置
¥102,900→¥72,000



辻石斎 青筋筋宝尽大棗
¥49,000→¥34,000

編集の窓



天龍寺 曹源池庭園 2016 11/26撮影 photo by S.A

※昨年より11 12月号は各地の紅葉を紹介させていただいてます
遊と写る... 庭園の「曹源池庭園」は夢窓国師の作庭とされ、中央の曹源池を巡る池泉回遊式庭園で背景の嵐山など巧みに取り入られた借景式庭園である
いわれる浮牡丹の香炉からともいわれて
いう説や、夢窓国師が天龍寺に伝えた
由来はこの天龍寺船によって渡来したと
落慶した 因みに天竜寺青磁の名の
天龍寺船による利益で、一三四四年に
幕府公認の下、元へ派遣された貿易船・
その際、造営費捻出に苦慮するも、室町
創始であるとして、夢窓国師を開山として
足利尊氏が亀山離宮を禅寺に改めたのが
霊を鎮めるため、夢窓国師を開山として
南北朝時代の一三三九年、後醍醐天皇の
禅利。天龍寺は京都の嵯峨嵐山に建つ臨済宗の
天龍寺は京都の嵯峨嵐山に建つ臨済宗の

ご案内

当店では、皆様にお抹茶を楽しんで頂けるよう
お待ちしております。近くにお越しの際は
気軽に遊びにいらして下さい

(女性スタッフより)

お客様のご要望に応じて社員が定期的に
三重県内にお伺いさせていただいております。
何なりとお申し付け下さいませ。
ギャラリー森田ホームページ
gallery morita スタッフぶろぐ
http://ameblo.jp/gallerymorita/
facebook ご覧ください!

今月の店内
干支がまだまだ
お待ちしております

■ご不要になりましたお道具など
どうぞお売り下さい。
月刊「ざらりいさん」編集プロジェクト



ギャラリー森田